

しんろだより～道～ 号外

秋田県立聴覚支援学校 進路指導部

高等部、高等学校段階の進路について

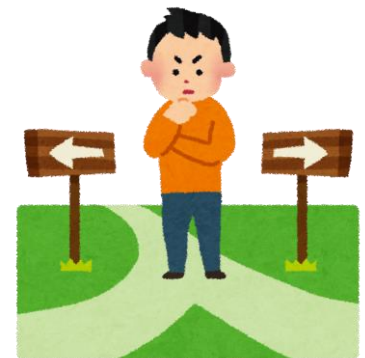
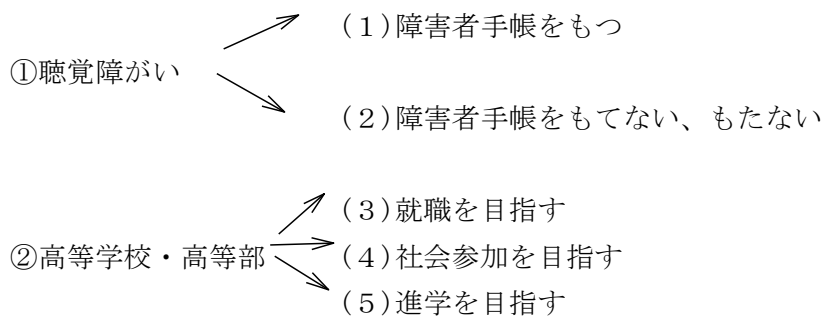
現在、小・中学校、小・中学部のお子様をお持ちの保護者の方は、特に必見です。

高校選択、高等部の科の選択の参考に、御活用ください。

◎ 高校生段階での進路選択では、次の①②を考える必要がある。

①聴覚障がいをもつ場合、進路選択上、次の（１）か（２）かで大きく違いが生じる。

②高校生段階であれば（３）～（５）の選択肢がある。



(1) 障害者手帳をもつ

○聴覚障がい者の就職は、多くの場合「障害者枠」での就職になる。

大学進学者であっても、「障害者枠」での就職が多い。

誰もが知っている有名企業の多くは、障害者枠でありながら「短大卒以上」「大卒以上」の条件がついていることが多い。（障害者用の求職・求人サイトを参照してください。）

- ・ 障害者手帳をもっていれば、「障害者枠」を使えるので就職に有利である。
- ・ 障害者手帳があれば、福祉の制度を利用できる。
- ・ **両耳 70dB 未満^{※1}の場合、身体障害者手帳をもてない^{※2}ので、手帳に頼らない就職活動が必要になる。**

^{※1} 6級は、両耳 70dB 以上、または、片耳 90dB 以上でもう一方が 50dB 以上となっている。

^{※2} 他に、明瞭度での規準がある。

(2) 障害者手帳をもてない、もたない

- 多くの場合、健常者と同じ条件で同等の能力を発揮する必要がある。
- 「資格」を取得すれば、就職に有利になる。
- 理解者のいる会社を探すことが大切。

(3) 就職を目指す ※進学希望者も、大学や専門学校在学中に就職を目指すので、必読！

※他の障がい併せ有する場合でも、就職に至る場合がある。

- 聴覚障がい者の就職は、一部の職種を除き「障害者枠」での就職である。
大学進学者であっても、「障害者枠」での就職が多い。

- 求人数は、圧倒的に県外が多い。
 - ・東京を中心とする大都市圏 … 事務職が多い。
 - ・大阪、愛知、他 … 製造業の求人も多い。



- 秋田県立聴覚支援学校には、製造業から学校指定の求人がある。
 - ・愛知県＝＜毎年＞「トヨタ自動車」「豊田自動織機」「デンソー」「アイシン精機」
 - ・関東＝＜平成25年度より＞「日産自動車（神奈川）」「富士重工（群馬）」
 - ・秋田県＝生徒が実習・就職相談をし、内々定状態になった事業所から、学校指定求人が来ます。

- 一般の高校・大学には、「障害者枠」の求人は来ない。進路指導部または、就職支援課等と相談し、早めに希望する企業に、「障害者枠」の求人を出してもらえるか相談する必要がある。

- 卒業時に就職に至らない場合でも、職業的訓練をする場は様々ある。
 - ・職業訓練校（国立・県立、一般・障がい者）
 - ・就労移行支援、就労継続支援等の福祉施設

- 他障がいを併せ有するなどの場合でも、本人の状態により就職を目指せる場合がある。
小さなころからの適切な支援とコミュニケーションが大切。
その上で、次のことを習慣づけたり、心掛けたりしたい。

- | | |
|--------------------------|--------|
| ・体力向上（身体全体を使った動き、指先の巧緻性） | ・整理整頓 |
| ・気持ちの安定、素直な態度 | ・身だしなみ |
| ・あいさつ、返事、言葉づかい、マナー | ・時間を守る |
| ・地域での仲間作り、理解者作り | ・手伝い |



(4) 社会参加を目指す

- 就職を目指すことが難しい場合でも、家庭で全て背負わず、毎日のように通う場があるとよい。
 - ・地域活動支援センター、生活介護等の福祉施設の利用
- 日ごろから、次のことに心掛ける。
 - ・福祉施設、相談支援機関との連携
 - ・保護者の仲間作り

(5)進学を目指す

○大学に進学する聴覚障がい者の数は、年々増加している。

- (要因)
- ・大学数の増加と、入学者数の減少。大学側は、生徒を集めたい。
※A O入試など、多様な試験形態で挑戦しやすくなっている。
 - ・社会全般に障がい者への理解が広がってきている。
※先人の活躍、法律上の整備等
 - ・情報保障機器が発達してきている。
※パソコン要約筆記等の普及

- (実状)
- ・大学により、考え方も受け入れ体制もまちまち。大きな差がある。
 - ・情報保障がしっかりした大学がある一方で、情報保障なしで自助努力を求められるケースがある。
 - ・興味のある大学については、早めに情報収集する。

○大学選択について

ポイント① 何を大学で学びたいか目標を定める。

- (例)
- ・こんなことを勉強したい。
 - ・こんな資格を取りたい。

ポイント② 希望する大学に合格できる学力があるか？

- ・希望する大学に入れる実力を身につける。 =学習習慣が重要
- ・合格したいなら、勉強するしかない。
※一人で勉強できる心の強さ、芯の強さ、根気強さ

ポイント③ 自分の力で入れる大学を選択する。

- ・希望に近いことを学べる大学を探す。
- ・学力が高いほど、選択肢は広がる。
- ・A O入試、推薦入試等、あらゆる手段を検討する。

ポイント④ 受け入れ体制を確認する。

- ・大学で資格取得を目指すなら、受け入れ体制のよい方を。
・受け入れ体制の大学間の格差は、とても大きい。
※大学のオープンスクールを活用するなど、保護者の積極的なバックアップ

○専門学校の選択について

情報保障なしで自助努力を求められるケースがある。門前払いもある。

=専門学校側と、早め早めの相談が必要。

実際に見学に行き、自分(生徒自身)を知ってもらう努力が必要。



内容についてのお問い合わせ：秋田県立聴覚支援学校 進路指導部

電話 018-889-8572

FAX 018-889-8575

メール akitarou-s@akita-pref.ed.jp